

教務所長巡回報告

去る9月17日(土)午後2時から、木之本スティックホールホールで第24組教務所長巡回が開催されました。組内から住職15名・門徒代表23名が出席し、事務連絡などの説明を聞きました。教務所からは、宮戸長浜教務所長、今津主事、黒田長浜別院主任、曾我教区会議長、北川教区門徒会副会長が出向されました。

まず、相続講員追弔会のお勤めが高橋副組長の導師で行われ、その後組内全寺院完納表彰状が宮戸所長から高橋副組長に手渡され、感謝の言葉が述べられました。

続いて「長浜教区連絡事項冊子」に基づいて事務連絡の説明が担当者からありました。冊子はあらかじめ各お寺に配布されていますので詳しくは住職または役員の方からお聞きください。

主な説明事項は次の通りです。

◆2022年度宗派経常費ご依頼について ◆宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年懇志金の賞典や慶讃事業関係などについて ◆第4回門徒戸数調査について ◆本山第二種共済の任意加入について ◆真宗本廟奉仕団について ◆真宗本廟・大谷祖廟での収骨及び納骨について ◆2022年度長浜教区教化事業の重点教化施策について ◆長浜・五村別院の2022年度ご依頼や別院教化事業などについて説明がありました。

尚、去る8月の臨時教区会・教区門徒会において「教区改編(京都教区との合併)」についての合意書が可決されたことを受けて、後日説明会を開催される予定です。



真宗本廟奉仕に参加して

組門徒会長 山岡 吉彦

去る10月8日から1泊2日で長浜教区第24組門徒会として、高橋副組長と美濃部組教導を含め11名で真宗本廟奉仕に参加させていただきました。私は、お寺様のご縁により良い機会を与えて頂いたものと感謝しております。利用させていただいた同朋会館は近年改修されたそうで、美しく快適に研修することができ、食事も想像以上のものでした。結成式に始まり両堂参拝、清掃奉仕、夕事勤行、講話、座談、翌日は、晨朝参拝、帰敬式、諸殿拝観等滞りなく一連の行事を終えることが出来ました。諸殿拝観では、普段見ることのできないところも見せていただき、阿弥陀堂や御影堂は、荘厳で立派な御堂で圧倒される思いで手を合わせさせていただきました。また丁寧なご説明を受け、参加者一同は真宗本廟に魅せられてしまいました。

参加者の内4名の方が帰敬式を受式され、いただかれた法名を見せあいながらお剃刀を受けた感動を語りあっておられました。南枝暁教導様の温かく親切なご指導により、三帰依文を通して真宗門徒であることの意味をわかりやすく教えていただくことができ、改めて感謝させていただきます。

す。気ぜわしい日常を忘れ、普段、話の出来ない同朋の方々とのふれあいができ、本廟奉仕でなければ経験することが出来ない貴重な体験をさせて頂いたことに感謝の思いで一杯です。コロナ感染の心配がある中にもかかわらず参加いただいた皆さんにお礼申し上げます。門徒会として、来年度もこの本廟奉仕の事業を計画したいという思いと共に、是非とも皆様方のご参加をお願いしたいと思います。



因を忘れて果ばかりを追い求めていくところには 感動や感謝は生まれぬ

真宗大谷派 長浜教区 11・12月号

第24組 広報

発行日
2022年11月1日
第210号
発行責任者
組長 熊野 俊史

本山(京都・東本願寺)報恩講のご案内

今年も、真宗本廟(京都・東本願寺)では「報恩講」が勤まります。報恩講は、宗祖親鸞聖人の御祥月命日に勤まる法要で、真宗門徒にとって1年でもっとも大切に中心なる仏事です。

東本願寺では、来る**11月21日(月)から28日(月)**までの8日間にわたり勤まります。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、内容が変更される場合がありますが、ご参拝の時には、下記についてご理解・ご協力くださるようお願いいたします。(詳細は同朋新聞を参照)

- *参拝者の間隔を保つため、御影堂は原則として椅子席になります。
- *参拝いただく際は、必ずマスクを着用ください。
- *境内各所に消毒用アルコールを設置していますので、手指の消毒をお願いします。
- *移動・参拝の際は、密集を避け、互いになるべく距離を空けるようお願いします。
- *混雑を避けるため、堂内は入退堂のルートを設定しますので、ご協力ください。
- *入堂時には検温にご協力ください。
- *御影堂・阿弥陀堂とも定期的に換気をします。各自防寒対策をお願いします。
- *体調に異変がある場合は、参拝をお控えください。

正副組長選挙について

来年ご本山(真宗本廟)で親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要が勤修されるにあたって、正副組長の任期が短縮され、来る11月30日で満了となります。それに伴って、下記の日程で新正副組長を選出するための選挙が行われます。新正副組長のご紹介は次号で行います。

記

- 1、任期満了日 2022年11月30日
- 2、選挙期日 2022年11月3日(木・文化の日) 14時~18時
- 3、選挙場所 了覚寺本堂(高月町熊野476)
- 4、新正副組長任期 2022年12月1日~2026年3月31日



真宗大谷派 長浜教区第24組 ホームページ
<http://nagahamakyoku24.main.jp>

台風が外れてくれたらそれでいい そんな者が「祈る平和な世」とはなんだろう

各寺の行事紹介

* 届け出寺院のみ掲載

寺院	法座名	日 時	法 話 者
浄教寺(東阿閉)	報恩講	12月3日(土) 14時	佐々木悦也氏
恩覚寺(西阿閉)	報恩講	11月12日(土)～13日(日)	住職
覚勝寺(西阿閉)	報恩講	11月12日(土)～13日(日)	住職
了覚寺(熊野)	報恩講	11月12日(土)～13日(日)	
充滿寺(西野)	報恩講	11月4日(金)～6日(日)	住職
圓行寺(西柳野)	報恩講	11月4日(金)～6日(日)	鈴木君代・住職・若院
隨願寺(柳野中)	永代経	11月12日(土) 10時30分	住職
	報恩講	11月12日(土) 午後～13日(日)	住職
妙覚寺(東柳野)	報恩講	11月4日(金)～6日(日)	5日14時—浄福寺住職
梅龍寺(磯野)	報恩講	11月19日(土)～20日(日)	住職
本宗寺(磯野)	報恩講	11月12日(土)	
双林寺(西物部)	報恩講	11月22日(火) 午後1時～	住職
猶存寺(布施)	報恩講	11月5日(土)～6日(日)	住職
長照寺(唐川)	報恩講	11月19日(土)～20日(日)	高岡淳氏・住職・副住職
圓常寺(千田)	報恩講	11月12日(土)～13日(日)	桐畑珠里氏・住職
来入寺(千田)	報恩講	11月12日(土)～13日(日)	12日13時—東山潤氏・住職
明德寺(黒田)	報恩講	11月11日(金)～13日(日)	住職・前住職
樹徳寺(田居)	報恩講	11月4日(金)～6日(日)	秦 信映氏
誓海寺(大音)	報恩講	11月12日(土)～13日(日)	12日—老泉俊樹氏
明源寺(今市)	報恩講	11月6日(日) 午前9時	住職
景好寺(柳ヶ瀬)	報恩講	11月6日(日) 午前10時	秦 信映氏

「お寺であそぼ みんなであそぼ ナニしてあそぶ？」に22人の参加

8月19日(金)午前9時より誓海寺(木之本町大音)にて、「おてらであそぼ みんなであそぼ ナニしてあそぶ？」(主催・青少年部会)の第1回目が開催され、こども園から大人まで22名の参加がありました。組内を北部・中部・南部と分け、各地域を巡回する形で全4回開催します。内容も各回全て違うものを計画し、大人にも参加してもらえるよう工夫をしています。

第1回目は染め物の講師の方をお呼びして、マリーゴールド染めを行いました。大判の白いハンカチに石や割り箸を包み、輪ゴムできつくしばって染料に漬けると、しばられている部分は白く残って模様となる、といったものでした。輪ゴムを取るまでどのような模様になっているのか分らず、さらにしばり方がゆるいと全て染まってしまうので、参加者はドキドキしながらハンカチを広げていました。ハンカチは本堂の向拝の柱に渡した紐に付けて乾かし、全員で記念撮影をしました。ハンカチを染料で煮詰めている間には、昨年度の事業で各お寺に配布した『いのちをいただく』という絵本を使って、誓海寺のご住職に読み聞かせをしていただきました。

今回は来年の3月25日に圓行寺にてハスワークを行います。参加をお待ちしております(青少年部報告)



犬は犬らしくないことはしないが 人間は人間らしくないことをする

長浜・京都教区改編について (報告)

【これまでの経緯について】

第4期「教区及び組の改編に関する中央委員会」報告書(2016年10月14日付)にて「長浜、京都教区」の改編試案が示されて以降、長浜・京都地方協議会では、地方協議会を22回、教化・組織・財務各専門部会を19回行い、改編後に新教区が、教財両面にわたって安定的に運営できるよう協議を重ねてこられました。

そして、これらの協議内容は、長浜・京都教区において教区改編委員会(長浜教区14回・京都教区11回)、また教区内説明会(長浜教区3回・京都教区2回)を開催し、こうした取り組みの中で皆様からいただいた様々の提言や要望を取りまとめ、両教区の方々のご意見を尊重しながら5年半歩みを進めてこられました。

【「合意書」の議決について】

両教区での「合意書」議決に向け、長浜・京都両教区の改編委員会(2022年6月24日開催)において報告し、地方協議会(2022年6月27日開催)において「合意書」が作成されました。

そして、長浜教区では2022年8月5日の教区門徒会並びに2022年8月10日の教区会において、京都教区では、2022年7月21日の教区会並びに2022年7月26日の教区門徒会において、「合意書」が次の通り可決されました。

【合意書】 (要旨)

- 1、教区の名称 京都教区
- 2、実施期日 2024年7月1日
- 3、教務所の所在地 現京都教務所とする。現長浜教務所は教務支所とする。
- 4、教区の財産 新教区が承継する。(一部会計を除く)
- 5、別院の崇敬区域 従前のとおり
- 6、組の名称 従前のとおり (長浜教区の第12組から第24組の組名には、それぞれ「長浜」を加える)
- 7、その他 教化事業推進のため地区間の交流を行う。教学研究機関を設置する。

新たに新教区準備委員会が
設置されました

【新教区準備委員会の設置と今後の流れ】

2022年8月30日付で地方協議会が解散し、新たに新教区準備委員会が設置されました。新教区での関係諸法規・教化事業計画・予算案を策定するとともに、新教区発足に向けた様々な課題を新教区準備委員会と内局間で折衝する。

新教区準備委員会のメンバーは、長浜・京都両教区の正副議長・正副門徒会長・参事会員・常任委員の36名で構成。準備委員会では、常任委員会(10名)や小委員会(「教化・組織小委員会」・「財務小委員会」・「特区小委員会」)を設置し、新教区準備委員会から付託された事項を協議することになっています。協議結果は、文書で新教区準備委員会に報告されます。報告された事項について同委員会にて議決が行われ、その議事及び結果については、両教区の教区会・教区門徒会・教区改編委員会・中央改編委員会に文書で報告されます。それを受けて、最後は宗会の可決をもって新教区が発足する運びとなります。

詳細については、今後組内で説明会が開かれる予定です。(文責・広報部)

蟻は蜜を見つければ集団に持ち帰るが 人間は一人でもり食べようとする